

坂井市社協だより

Topics

第17回 坂井市社会福祉大会報告	2P
赤い羽根共同募金のしくみ	3P
福祉委員紹介	4P～5P
社協の福祉サービス紹介	6P
寄付・地域の活動紹介	7P

2022年 11月
Vol.99 November

第17回 坂井市社会福祉大会

主催：社会福祉法人坂井市社会福祉協議会 後援：坂井市、坂井市教育委員会、社会福祉法人 福井県社会福祉協議会、社会福祉法人 福井県共同募金会 / 坂井市共同募金委員会



この広報紙は赤い羽根共同募金の助成金を活用しています。



第17回 坂井市社会福祉大会を開催しました。



令和4年9月11日(日) ハートピア春江にて、3年ぶりとなる第17回坂井市社会福祉大会を開催しました。

当日は、民生委員・児童委員、福祉委員といった社会福祉関係者をはじめ、区長、各地域団体、地域住民の方々、約200名にご来場いただきました。

講演会では、社会福祉法人佛子園 理事長 雄谷 良成 氏をお迎えし、「ごちゃまぜ～地域を拓く共生社会～」と題して講演をいただきました。佛子園の活動や取り組みは、とても興味深くこれからの地域共生社会への大きなヒントになりました。

市内の社会福祉関係者が表彰されました。

受賞おめでとうございます。(敬称略・順不同)

市社会福祉協議会長表彰 功労表彰

(民生委員・児童委員)

五十嵐 政美(三国町) 江端 政司(三国町) 勘座 陽子(三国町) 北村 友美子(三国町) 黒川 洋子(三国町) 小島 光治(三国町) 田賀 卓司(三国町) 玉森 たづ子(三国町) 出口 諤(三国町) 伊東 紀子(丸岡町) 大崎 辰巳(丸岡町) 大嶋 正幸(丸岡町) 栗波 恒夫(丸岡町) 笹原 妙智子(丸岡町) 高屋 幸一郎(丸岡町) 竹内 弘美(丸岡町) 林田 文子(丸岡町) 松川 誠一(丸岡町) 松川 由紀子(丸岡町) 北嶋 ヨシノ(春江町) 鈴木 英雄(春江町) 高嶋 嘉代子(春江町) 田川 幸代(春江町) 前田 啓子(春江町) 丸田 さち子(春江町) 高橋 和枝(坂井町)

(福祉委員)

中出 敏美(坂井町) 辻 人志(三国町) 名村 みづ江(三国町) 五十嵐 輝治(丸岡町) 北川 律子(丸岡町) 吉田 幸憲(丸岡町) 吉田 由美江(丸岡町) 内田 武夫(春江町) 籠谷 松生(春江町) 松永 かず子(春江町) 内江 輝三(坂井町) 達川 和代(坂井町) 中島 美千代(坂井町) 長谷川 美千子(かすみが丘学園) 海松 千賀(かすみが丘学園) 國本 芳子(白女林) 高橋 繁子(白女林) 古屋 信二(丸岡福祉会)

(ボランティア個人)

五十嵐 愛子(三国町) 杉本 嘉代子(三国町) 東光 ますみ(三国町) 平嶋 真知子(三国町) 伊藤 美智子(坂井町)

(ボランティア団体)

たかとの郷づくり協議会
かんきょう部会(丸岡町)
音訳ボランティア
だるまの会(坂井町)

(自立更生)

村瀬 和男(春江町)

(永年勤続)

竹村 哲郎(三国町)
大倉 明子(丸岡町)
加藤 法明(丸岡町)

市社会福祉協議会長感謝

株式会社ユニック
(春江町)





(社会福祉協議会・民間社会福祉団体)
大嶋 修子 濱田 亮
岡崎 和恵 馬場 昌子
関 輝勝 松本 美恵子
中島 久明 葭野 祐子
西永 さゆり

(ボランティア優良活動)(個人)
笹野とし子(丸岡町)
龍川 濱江(丸岡町)
藤田 絹枝(丸岡町)
前田 眞弓(丸岡町)
三澤 加代子(丸岡町)
中山 晃廣(春江町)

(福祉委員)
山崎 芳憲(三国町)
大蔵 富男(丸岡町)

県社会福祉協議会長表彰
功労表彰
(敬称略・順不同)

赤い羽根共同募金運動とは

共同募金は社会福祉法という法律のもと、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む活動を支援するしくみとして活用されている民間の募金運動です。

坂井市でお寄せいただいた募金は「じぶんの町を良くするしくみ」として坂井市の地域福祉活動支援などの福祉活動の経費に使われています。

坂井市民のみなさま

坂井市内の福祉活動に

地域福祉活動へ

- 基本活動事業・地域のつながり応援事業
(地区ふくしの会の見守りなど基本活動とその地域の特性に応じた福祉活動の助成)
- 区(自治会)設備修繕助成金(遊具・ゴミステーション等修繕)
- 広報啓発(社協だよりや福祉大会等)

ボランティア・福祉団体へ

- ボランティア・福祉団体活動助成
- 福祉教育ゆめプラン事業(小中学校福祉学習支援)等

みなさまからの募金

戸別募金
街頭募金
法人・個人募金
学校募金
職域募金
イベント募金

坂井市共同
募金委員会

助成 約63%

赤い羽根共同募金
のしくみ

とりまとめ

坂井市共同
募金委員会

全額送金

福井県共同募金委員会

福井県内の
福祉活動

助成 約34%

助成 約3%

災害等
準備金

※助成は募金をいただいた翌年度に行われます。

どんな風に使われているの？



各区に1人以上設置
(50世帯に1人設置)

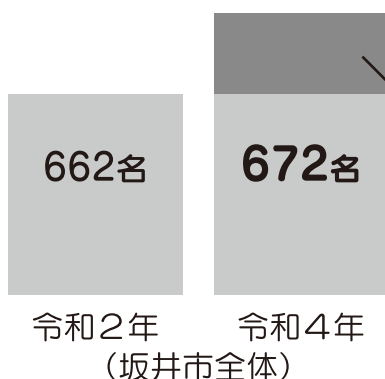


各区長から推薦され、
坂井市社会福祉協議会
会長より委嘱



地域の
福祉委員って
こんな人

福祉委員を必要としている区も多くなっています



設置数(区からの推薦)が
2年で**10名増**↑



福祉委員の役割は？

大きく2つ

① 困りごとの 早期発見／連絡

見守り活動を行い、福祉ニーズ(困りごと)を発見したら、まず区長や民生委員・児童委員、もしくは社協などの専門機関に連絡します。



② 福祉の情報提供

地域のなかに広く福祉情報が伝わるよう、区長や民生委員・児童委員とも連携して、福祉サービスや制度のチラシ等を配布します。



実際にこんな活動 しています

例えばこんな活動をしています!!

01

住民とのつながりづくり

区長や民生委員・児童委員と協力し、見守り訪問活動を行っています。福祉委員も加わることで、訪問回数が増えたり、見守りの目が増え、困りごとの**早期発見・解決**につながっています。



つどいの場・生きがいサロンの運営や協力

02



地域で開催している高齢者が集える「つどいの場・生きがいサロン」の運営にも携わっています。地域住民が集まれる場や機会づくりは、地域の**つながりづくり**や高齢者の「**健康寿命**」を伸ばすことにもつながる大切な活動です。

03

地域福祉推進基礎組織(ふくしの会)の活動に参加

住宅地図を用い、日頃から見守りが必要と考えられる地域内の一人暮らし高齢者や障がいのある方の世帯等を区長や民生委員・児童委員とともに**確認したり**、福祉に関する勉強会を行い、**福祉に対する意識を高める活動に参加**しています。



3つの活動を紹介しましたが、地域によって活動の内容は様々です。地域に住む住民のみなさまも、私たち福祉委員とともに「誰もが孤立することなく、安心して暮らしていける地域」をつくっていきましょう!!



他にも活動していることがたくさん!
社協HPに活動事例集を掲載していますので是非、ご覧ください!



デイサービス・
ケアプランセンター



社協の福祉サービス紹介

デイサービスは
丸岡の「霞の郷温泉」
の敷地内にあります。



霞の郷デイサービスは高齢者や障がいのある方の通所施設です

生活相談員
令和3年 入社

ご利用者の『ありがと
う』の一言や『笑顔』が
私の頑張りや元気の源
です！

ご利用者やご家族からの相談に応じ
デイ職員や各関係機関と連携し、デ
イご利用時のサービス内容を一緒に
考えます。



サービスご利用者からの一言



教えて貰った体操を家でも毎日やっ
てるんやあ。歩行練習で体力がつい
て家の事も少しできるようになっ
たし、デイの日が楽しみ！

介護員

平成18年 入社

良い職場の仲間に囲ま
れ毎日楽しく仕事をし
ています。『一日楽し
かったよ』とご利用者
の声を聞くと、疲れも
吹き飛びます！

レクリエーションでの職員の元気な
かけ声で、ご利用者の皆さんも、楽
しく身体を動かして笑顔になりま
す。



お風呂がいいなあ。病気になって心
配やったけど泡が出る浴槽に浸かる
と手足まで温まり、手先を使う小物
作りもしてるよ！

ケアプランセンターは介護が必要な方の生活を一緒に考え、その方らしいケアプランを作成しています

ケアマネジャー
平成21年 入社

自分が作成したケアプ
ランでご利用者のでき
る事が増えて、いきい
きと生活されている姿
がみられるときにケア
マネジャーとしてのや
りがいを感じます。



ご利用者やご家族の意見を踏まえ
て、ケアマネジャーが計画書(ケア
プラン)を作成し、関わる人みんな
で、ご利用者の送りたい生活の実現
を目指します。

ご利用者の声



つらいときや困ったときに寄り添っ
てくださり、ありがたかったです。

寄付金・賛助会費

(令和4年9月1日～令和4年10月31日)

ありがとうございました

寄付金

上田町陽だまりサロン(丸岡町)

松井 勇 10,000 円

山内 眞一 10,000 円

匿名 2件 2,000 円

(敬称略・順不同)

※賛助会費については、次回の1月号にまとめて掲載させていただきます。

ふくし人★バトン

大関では、「2018第1次大関助け合いのまちづくりプラン」を策定し、昨年には、見直し「2021第2次プラン」を策定することができました。現在、多くの地域の方がプランの実践をしています。

プラン実践の中で、昨年から、みんなで一緒に食事をする事で知り合い、助け合える関係を目的に「大関居場所づくり～みんないっしょに～(こども食堂)」を月1回開催しています。

現在は、コロナ禍で弁当の配布をしています。2年目になり、支援を必要とされる方にも少しずつ届ける事ができるようになってきました。

コロナ禍が明け、みんなで会食できるようになった時は、少しでも本来の目的に近づけるようボランティアさんと楽しみながら進めていきたいと思っています。

大関助け合いのまちづくり推進委員会委員長
大関居場所づくり～みんないっしょに～代表

虎尾 正子



地域福祉推進基礎組織ご紹介

城のまちふくしの会	
地区名	丸岡町 城のまち地区
人口	5,448人(令和4年4月現在)
高齢化率	30.6%(令和4年4月現在)
組織構成	区長、民生委員・児童委員、福祉委員、各種協力団体代表者
活動内容	福祉マップづくり、福祉講演会など

※地域福祉推進基礎組織とは、コミュニティセンター単位もしくはより細かな地域で、住民主体による地域活動に取り組む住民組織。地区ふくしの会など。



会員からのコメント

当会の主な取り組みとして、「福祉マップづくり」と「福祉講演会」があります。

福祉マップづくりでは、見守り対象者の確認とともに、情報交換を通じて地区内の困りごとを把握し、解決・予防を図るための一助とすべく取り組んでいます。また、ふくしの会の活動意欲を高め、福祉に関する問題を学ぶ場として、福祉講演会を実施しています。

今後は、地域のサロンやシニアクラブとのつながりを大切にした活動にも力を入れ、(会員だけでなく、)地域住民からも活動が目に見えて、親しみをもってもらえるような組織づくりをしていきたいと思っています。

あなたの町の集いの場(三国町)

サロン名	上錦健康推進倶楽部
開催日	週3回
場所	上錦区民館 他
参加者数	5～10名
主な取組	健康麻雀、ラジオ体操、清掃活動など



運営者より

「賭けない」「喫わない」「飲まない」をモットーに、週3回、健康麻雀を行っています。最近では、その他にも、地区内の清掃活動や朝のラジオ体操に取り組むなど、少しずつ活動の幅を広げています。

親睦と健康の維持、脳の活性化で「100歳まで元気に！」を目標に、日々の活動を楽しんでいます。

